



令和5年度 前期まとめ

学校アンケート

千葉市立高洲第三小学校

児童 339 名 保護者 251 名 (72%) 教職員 18 名

学校が楽しい



保護者 95% ← 95%
先生 96% ← 96%

なかよくできた



保護者 100% ← 98%
先生 96% ← 96%

わかった！



保護者 89% ← 89%
先生 88% ← 91%

すすんで学んだ



保護者 75% ← 77%
先生 96% ← 96%

体力づくりができた



保護者 77% ← 78%
先生 79% ← 82%

時間を守れた



保護者 79% ← 81%
先生 81% ← 83%

手伝い・掃除ができた



保護者 88% ← 80%
先生 85% ← 87%

あいさつができた



保護者 87% ← 84%
先生 77% ← 78%

保護者の皆さんに伺いました



情報がわかりやすい



相談しやすい



いじめ防止の取組





学 校 が 楽 し い

児童90%・保護者95%・教職員96%

子どもたちの「やってみよう」という気持ちを引き出すために、本校では「楽しい学び」「子ども主体の活動」を創り出すこと、「自己選択」の場面を学年毎に増やしていくことを実践しています。



仲 良 く で き た

児童95%・保護者100%・教職員96%

「誰もが、安心して頑張れる高洲三小」を作ろうと、子どもたちに呼び掛けています。そのために「大切な5つのこと」提示して日々の指導に生かしています。人間関係にまつわる様々なことを学ぶのも学校生活での大切な側面です。年2回の教育相談週間やスクールカウンセラーとの面談の充実を図り、保護者のみなさまと連携して担任をはじめ全教職員で児童の学校生活を支援します。



わ か っ た ！ (学習内容の理解) 児童93%・保護者89%・教職員88%



す す ん で 学 ん だ (学 習 意 欲) 児童81%・保護者75%・教職員96%



校外学習やゲストティーチャーの授業など、子どもたちに体験的、魅力的な学習の場を提供する機会が増やせました。また、学年が進むにつれて、学習内容は質・量ともに増加します。興味・関心の高さは学習の基盤です。個別最適化する指導を心がけ「楽しい学び」の創出に取り組みます。ご家庭でも家庭学習の習慣化に変わらずご支援ください。



体 力 づ く り が で き た

児童83%・保護者77%・教職員79%

制限が緩和され、子どもたちは元気に外遊びを始めたのですが、今夏の厳しい暑さのため校庭に出られない日も多くあり、それがアンケートにも表れています。秋から冬にかけては、存分に外に出て遊び、体育の授業も盛んにおこなわれています。「なわとび週間」「体力づくりマラソン」も実施されています。今後は楽しみです。



挨 拶 で き た

児童87%・保護者87%・教職員77%

登下校時のセーフティーウォッチャーの皆さんのおかげで、挨拶ができる子供たちも増えています。学年やクラスごとに、「朝のあいさつ運動」を実施し、挨拶することの気持ちよさを実感できた様子です。挨拶を身に付けるにはご家庭での「おはよう」から始まります、学校でも私たち大人から積極的に挨拶をしていきます。



手 伝 い ・ 掃 除 が で き た

児童88%・保護者88%・教職員85%

工事が続いているため、例年よりも清掃は手間がかかります。美化委員会の啓発活動を契機に、清掃に熱心に取り組む児童が増えてきています。「きれいになったね」「手際がいいね」「助かるよ」などの励ましや感謝の言葉を子どもたちの勤労意欲の向上につなげます。



時 間 を 守 れ た

児童90%・保護者79%・教職員81%

本校ではチャイムを使用せず、一日の予定を「朝の会」で伝えて、時間を自己管理できるよう指導しています。ご家庭での就寝時間や起床時間など、生活の中で指導を継続していくと一層効果的です。

【ここからの設問は保護者のみの調査】



学校からの情報発信がわかりやすい

82%の肯定的回答

学校連絡メール「すぐーる」や、学校ホームページ、おたより等の様々な媒体を通して保護者の皆さんと、子どもたちに伝えたことを共有しています。今後も一層わかりやすい情報の提供を心がけます。



学校への相談のしやすさ・いじめのない学校づくり

89%・94%の肯定的回答

日常から子どもたちの様子に気を配ることはもちろん、年2回の教育相談週間やいじめアンケートの実施などに取り組んでいます。子どもたちの指導には、担任だけではなく学年職員、生徒指導担当、養護教諭、特別支援コーディネーター、教務主任、教頭、校長とチームにあたります。気がかりなことなどがありましたら、私たちと情報を共有してください。今、子どもに必要な支援は何かをご家庭と学校で考えていきましょう。

【自由記述設問での御意見】

29名

健康面に始まり、家庭学習や学校での指導、友達とのやり取りやスマートフォンの使い方まで、保護者みなさまの心配の種は尽きることがないのだと拝察いたします。

全てのご要望にお応えすることは難しいのですが、ご意見を真摯に受け止めて、改善すべきは迅速にそれを行います。

なお、29名のうち27名の方から本校の取組みや教職員に対して、ねぎらいやお褒めの言葉、励ましのお言葉をいただきました。何よりの励みになります。ありがとうございました。